

【背景】愛知県及び知立市が抱える課題

	愛知県	知立市
人口 (R4.6月末時点)	280,912人 ※全国で2番目に多い	5,622人
外国人 比率 (R4.6月末時点)	3.74% (県内人口のうち)	7.79% (市内人口のうち) ※県内で4番目に高い

参考：愛知県内の市町村における外国人住民数の状況（2022年6月末現在）  
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/gaikokuzinjuminsu-2022-6.html>

・外国人が多く在住しており多文化共生施策を実施しているものの、外国人にとっては、依然として言葉、文化、制度、心の壁などの障壁が大きい。そのため、様々な場面で相手に寄り添うための多言語対応が求められる。

・愛知県内には、コミュニティ通訳※やそれに類似した活動をしている人がいるが、体系的・専門的に学ぶ教育機関がなく、課題の共有、理論的な対応策の検討や蓄積等がなされていない。

※コミュニティ通訳とは、医療、司法、教育、行政、福祉等の領域で実践され、外国籍住民など日本語を母語としない人の基本的人権を保障するために必要な通訳を指します。

知立市と愛知県立大学との情報共有

・令和4年4月から愛知県立大学大学院国際文化研究科国際文化専攻に「コミュニティ通訳学コース」を開設。

→ コミュニティ通訳に関する知識やスキルを体系的に学び、専門性を高めていくことを目指している。

・令和4年7月に市の多文化共生施策などについて情報交換を実施。その後、愛知県立大学内にてオンライン配信により、教員や学生にも市が抱える課題を情報提供。

→ 多文化共生に関する内容に限らず、他分野においても課題があることを共有。



“分野を問わない連携”の実現!!

・多文化共生施策に限らず、DX推進などの様々な分野についても幅広く連携を深めていくこととし、連携と協力に関する協定を締結。

・具体的な連携事項は、市が抱える各分野の課題を明確にした上で、連携が実現できるかを随時協議する。



多文化共生の推進をはじめとした  
両者の発展及び  
地域の活性化を目指す

